

認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2024 年度事業報告書



2025(令和7)年6月

総括

阪神・淡路大震災から 30 年を経たが、能登半島地震後、30 年の間に行われて来た災害支援の経験がほとんど活かされない現実を目の当たりにした時、憤りの気持ちと共に、当団体が行ってきた助成事業に間違いが無かったのかという疑問を持つに至り、今年度は通常の助成事業を中止にした。災害支援だけではなく、日常の社会生活に必要な市民活動、これらの活動から生まれて来る被災地支援へのアイデアを何かの形で社会へ訴えることは出来ないか、それによって今後災害が起こった際に、それらが活かされる社会であって欲しいと考え、今年度は顕彰事業の実施となった。大変厳しい財政状況の中、今後の助成事業の在り方、しみん基金・こうべの可能性を探り、事業化して行く意味において必要な転換期と考えている。

成果と課題

① 助成事業

初めての形での顕彰事業を実施した。テーマを絞ったアイデア公募だったにもかかわらず 23 件の提案を頂き、最優秀賞はなかったが 6 提案を入賞とすることができた。そのうち 3 提案のブラッシュアップワークショップも実施し 40 名の参加者とともに検討することができた。残りの提案もワークショップを実施していく。特別賞・黒田裕子賞の贈呈も実施した。

② 寄付・募金事業

今年度は企業からの定期的なご寄付が全くなく大変厳しい状況だった。新たな仕組みや遺贈寄付など開拓をすることが喫緊の課題である。それができないこととなれば危機的状況となると言わざるを得ない。

③ 中間支援事業

神戸市が立ち上げたボランティアマッチングサイト「ぼらくる」の活用支援窓口を受託し、つなごう神戸からの移行作業に大変な労力を要したが、ようやくサイトが動き出し始めた状態。

また上半期には神戸市から能登半島地震報告会を受託実施し、下半期には能登の被災ご家庭の輪島塗漆器の洗浄・販売を打診され、白鶴酒造(株)やKIITOの協力を得て実施した。漆器洗浄・販売に関しては引き続き次年度も実施予定。

④ 運営管理

来年度は 2 度目の認定 NPO 法人格の更新年度となる。問題なく更新申請を行えるよう、少しずつ準備を行った。

目次

総括	2
目次	3
1 助成事業	
ア) しみん基金・こうべ助成事業	
①2024年顕彰事業	4
②2024年度しみん基金・KOBE特別賞	5
③2024年度黒田裕子賞	5
④2023年度助成事業成果報告会並びに顕彰事業・黒田裕子賞贈呈式	6
⑤災害被災地を支える人材活用を考えるワークショップ	6
イ) はあ〜とふるふぁんど支援事業	6
2 寄付・募金活動	
ア) 寄付金・募金受入	7
イ) イベント募金	7
①こうべ・あいウォーク 2025	
ウ) 協働企画型寄付システム	8
①古着チャリティ事業	
②寄付つき商品（有料試飲）	
③Yahoo ネット募金	
④ブランド物でキフ	
⑤継承本「神戸のなおちゃん」	
⑥その他	
エ) 遺贈寄付	8
3 中間支援事業	
ア) 神戸市ボランティアマッチングサイト「ぼらくる」	9
イ) KIITO:300 社会貢献事業	9
ウ) 令和6年度能登半島地震緊急支援助成報告会支援者誘致業務	9
エ) NPO 支援活動	10
オ) NPO 地域貢献活動フェア	10
カ) 広報・情報発信	11
キ) 能登のお宝プロジェクト	11
4 運営管理	
ア) 会議	12
イ) 管理等	12
ウ) 運営上の重要事項	12

1 助成事業

ア)しみん基金・こうべ助成事業

①2024 年度課題解決アイデア顕彰事業

1) 助成の趣旨

災害時は常に大きな社会課題の解決を迫られます。また平時の課題が大きく顕著にもなります。当基金は、災害支援だけではなく、日常の社会生活に必要な市民活動、これらの活動から生まれて来る被災地支援へのアイデア（提案・提言）を何かの形で社会へ訴えることは出来ないかと考え、それによって今後災害が起こった際に、それらが活かされる社会を目指しています。

そこで、この 30 年に培われた教訓、そこからの知見に触発された解決につながるアイデア（提案・提言）を、次なる災害（能登半島地震も含む）に活かすための「阪神・淡路大震災 30 年 課題解決アイデアを募集するプロジェクト」を実施いたします。なお、支援経験の有無に関わらず、また支援対象の大きさにも関わらず、優れたものを顕彰し、ワークショップを経て子化することで広く共有していきたいと考えています。

2) 応募資格

- ・活動分野は問いません。
- ・兵庫県内に主要な拠点を有する団体・個人
- ・大学等の教育研究機関単独ではないこと。
- ・アイデア（提案・提言）は多くのかたで共有することを前提としている旨を了承されていること。
- ・アイデア（提案・提言）が選出された場合は、さらに多様な視点を取り入れブラッシュアップすることを目的としたワークショップ（当基金主催）に出席できること
- ・冊子に掲載される場合は、ワークショップで議論し形成された意見を踏まえた推敲に協力できること

3) 解決アイデア（提案・提言）とは

限定はありませんが、あくまで市民レベルで実施可能なアイデアや必要な行政の仕組みについてのアイデア（提案・提言）であることを条件とします。わかりやすいものを以下に例示します。

- ・支援の経験はしていないが、災害が起ったらこんなことに困るだろうから、こんな準備をしておきたいと考えるもの。
- ・災害支援と触接関係のない活動をしているが、その実践を復興に活かせれば、こんなことが解決する。これまで実践してきた内容そのものではなく復興に活かす事が出来ると思われる活動。
- ・実際に被災地で支援を経験して、上手く出来たもの。おおよびこうすれば、より上手く出来ると感じたもの。
- ・必要な行政の仕組みについては、この時にこのような行政の支援が必要だといったアイデア（提案・提言）でも構いません。
- ・分野は問いません。

※事業助成申請ではありません。

※法改正に関わるものは対象としません。

4) 賞

最優秀賞 50 万円×1

部門賞 各 10 万×5（予定）

5) スケジュール

8・9 月：応募請受付、9 月末締め切り

10 月：受付検査、理事会審査、審査員・理事での審査会議（非公開）

11・12 月：公表（贈呈式）・賞金交付

2025 年 1 月から 5 月：ワークショップ開催

7月頃：冊子化

6) 審査会 審査会を、以下の通り開催した。

開催日時：2024年10月21日(月) 10:00~12:00

会場：中央区文化センター

出席審査員(順不同・敬称略)：

津久井 進(審査員長)、相川 康子、岡野 亜紀子、齋本 郁、本荘 雄一、
森崎 清登、山田 剛司

8) 顕彰提案決定団体・事業

審査会での選考結果を受けて、最優秀賞は該当なしとなったが、下表の6団体・個人の各提案に合計600,000円の賞金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名・個人名 提案概要	事業名
人材 活用 部門	1	一般社団法人アスミー	まちごとみんなで公務プロジェクト
	2	尾形 紗希	企業ボランティアプログラムおよびプラットフォーム構築に向けた提言
	3	特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所	シルバー建築応援隊
エ ン パ ワ ー メ ン ト	4	下町レトロに首っ丈の会	ものづくりの技能を介した交流の場の形成
	5	五十嵐香里	セルフケアによるよい変化を互いに見届け合う進化系自助会の開催
	6	森松明希子	災害あるある五七五

9) 賞金交付

12月25日(水)に、各団体・個人に対して助成金を交付した。

10) 助成先団体活動レポート

例年、助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄付者や市民に知ってもらうため、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信している。

- ・5/28 多文化共生センターひょうご
- ・8/21 あすパユース震災語り部隊
- ・8/30 (特活) ミャンマーKOBÉ
- ・9/25 (特活) 陽だまりの会・たらぶ

②2024年度しみん基金・KOBÉ 特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与している。今年度は通常の事業助成を実施していないため、顕彰事業でおしくも入賞できなかった個人応募の、京橋健一郎さんに決定し、2024年12月10日の成果報告会時に贈呈した。

③2024年度・第8回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年1回表彰するもので、2017年度より創設されました。

理事の推薦の中から理事会で選考し、第8回の受賞者は伊東正和さん、宍田正幸さん、

野村勝さん、古市忠夫さん（あいうえお順）の4名に送ることに決定し、上記の成果報告会にて贈呈した。

④2023 年度助成先事業成果報告会&顕彰事業特別賞・黒田裕子賞贈呈式

2023 年度助成事業（助成対象期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）について、10 月末日までに事業報告書を提出頂きました。今年は顕彰事業贈呈式並びに黒田裕子賞贈呈式も同日開催としました。

- ・ 開催日時：2024 年 12 月 10 日（月）18:00～20:20
- ・ 開催場所：兵庫県中央労働センター
- ・ 発表団体：(特活) 全国夜間中学ネット、(特活) ミャンマーKOBÉ、陽だまりの会「たらぶ」
面会交流支援センターピロティ、多文化共生センターひょうご
あすパ・ユース震災語り部隊

※「まちの本屋」上映実行委員会は体調不良により欠席

⑤災害被災地を支える人材活用を考えるワークショップ開催

顕彰対象提案となった提案のうち、まず人材活用部門の3 提案を対象に、多様な意見を取り入れるため、専門家だけでなく、一般募集も加え、ワークショップをアイデアごとに実施しブラッシュアップのワークショップを実施した。

- ・ 開催日時：2025 年 3 月 18 日（火）15:00～17:30
- ・ 開催場所：こうべまちづくり会館
参加者：40 名（アドバイザー、ファシリテーター、スタッフ含む）

イ)はあ〜とふるふぁんど支援(ボランティアあしすと部門)事業(受託事業)

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。(はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋)

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成 14 年度より毎年受託しています。

- ・ 主催：はあ〜とふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・ 支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・ 支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

- ① 2024・2025 年度事業
ともに兵遊協理事会の決定により、実施が見送られた。

2 寄付・募金活動

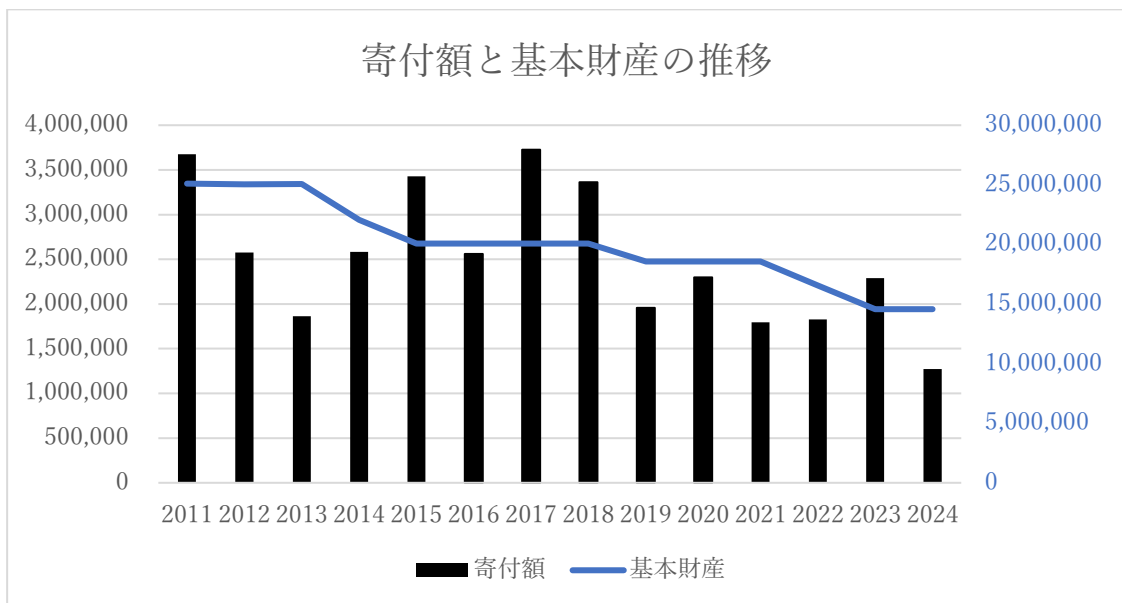
ア) 寄付金・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂いた。(敬称略・順不同)

中谷 豊	飛田 雄一	中島 秀男
吉本 悦	高橋 俊行	橋口 文博
山口 一史	戸川 益美	村井 雅清
瀬戸口延恵	山田 剛司	髯本 郁
瀬戸口仁三郎	佐々木妙子	白水 士郎
近藤マヤ子	岸 桂子	高田佳代子
下條 一樹	池見 宏子	宗 秀典
宗教法人真如苑	ヤフービジネスサービス	今津建設(株)
(有)神戸国際マーケット※1	神戸マラソンフレンドシップバンク	
芦屋西宮市民法律事務所	兵遊協福祉基金	
こうべあいウォーク 2025 実行委員会		
ボックス募金箱	まちなの本屋さん上映会募金箱	

総額 ¥1,274,864.-

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。
なお、※1印は現物寄付によってご寄付を頂きました。



イ) イベント募金

① こうべ・あいウォーク 2025 (協働事業)

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして今回も実行委員会形式で開催し、近畿労働金庫、コープこうべにご協力いただいた。震災から30年の節目であり、例年より多く210名の方にご参加いただいた。

※神戸マラソンフレンドシップバンクの寄付先です

■主催：こうべ・あいウォーク 2025 実行委員会 ((特活) 神戸まちづくり研究所、ふたば学舎、(認定特活) まちコミュニケーション、(認定特活) しみん基金・こうべ)

■協力：近畿労働金庫、生活協同組合コープこうべ

■日時：2025年1月12日(日) 9:30~13:00

プレウォーク 2024年12月12日 10:00~12:00

■場所：長田区（大國公園、カトリックたかとり教会、鉄人28号、大正筋商店街、ふたば学舎（旧二葉小学校）、丸互市場、本町筋商店街、水笠通公園、御蔵南・北公園など）

■実績：寄付金額／¥306,034.-

ウ) 協働企画寄付システム

① 古着チャリティ事業

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としている。ホワイト急便阪神御影店に「古着寄付BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄付の増加に努めた。また、毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。

■提携先：(有)神戸国際マーケット 寄付金額：¥200,600.-

② 寄付つき商品

白鶴酒造(株)「酒蔵開放」

白鶴酒造(株)が年開催される「酒蔵開放」での有料試飲コーナーの売上のご寄付については、今年度は能登半島地震へのご寄付となったため実績はなかった。秋の酒蔵開放において、被災ご家庭の漆器販売は実施した。

■提携先：白鶴酒造(株) 寄付総額：¥0.-

③ Yahoo ネット募金

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄付できる仕組みに登録している。2025年あいうオークもクレジットでのご寄付はこちらのサイトからもいただいた。

■提携先：ヤフー(株) 寄付金額：¥9,735.-

④ ブランド物でキフ

ブランド品買取サービス「ブランディア」と寄付プラットフォームサービス「Syncable」の運営する買取寄付サービスを通じてご寄付いただくことができる。

■提携先：Brand Pledge、寄付金額：¥0

⑤ 継承本「神戸のなおちゃん」

長年小学校教員を務められ、阪神・淡路大震災後は復興担当教員もされていた池見宏子さんが、震災30年にあたり、1月に絵本「神戸のなおちゃん」を出版され、当基金へ献本くださった。1冊500円で販売を始める。

⑥ その他

1) ろうきんNPO寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金額：¥6,000.-

2) 募金箱・自販機募金 協力設置場所：2ヶ所 募金金額：¥29,194.-

3) 印税寄付 「災害看護の本質」による印税寄付 寄付金額：¥521.-

4) まけないぞう販売 寄付金額：¥8,800

5) 神戸市ふるさと納税での寄付 寄付金額：¥77,250.-

(このうち70,250円が神戸市から助成される)

エ) 遺贈寄付

遺贈のご案内

ホームページに遺贈のページを掲載している。

3 中間支援事業

ア) 「神戸市ボランティアマッチングサイト活用支援」業務

今年度、神戸市はボランティア募集と、イベント告知だけに機能を絞った「マッチングサイトぼらくる」として新たに立ち上げた。それに伴い、当基金で2017年から管理・運営していた「つなごう神戸」は閉鎖された。当基金は活用促進窓口業務を受託し、つなごう神戸からの登録団体移行作業を実施している。

実施内容

- ① つなごう神戸登録団体移行業務並びに新規団体アウトリーチ
- ② 問い合わせ窓口対応並びにアスタフ、NTT への連絡等
- ③ 投稿記事・登録情報へのアドバイス修正／(団体・個人)、プロフィール登録依頼・マッチング対応への促し(団体)
- ④ 登録団体向け講座開催
- ⑤ 広報活動
- ⑥ 登録団体・個人向けアンケート実施
- ⑦ 打ち合わせ
- ⑧ 中間報告、年次報告

3月末時点の登録数は、個人1,852名、団体381となっている。投稿プロジェクトは275件あり、ぼらくるを通じた応募は181件あった。

次年度に向け

- ★登録者数増加のための他サイトとの差別化
- ★操作マニュアル(一作業ごとの画像付きもしくは動画)をサイト上に掲載する。
- ★記事の複製機能追加
- ★応募窓口をぼらくるにするためのシステムの検討が必要
- ★システムから送られたメールがエラーになっている場合のチェック方法
- ★物品がほしい際の記事投稿機能

の6点を提言した。

イ) KIITO:300 社会貢献事業

デザイン・クリエイティブセンター神戸からの受託事業として、KIITO:300において実施される相談事業や講座事業に関わった。

- ① 相談対応：なし
- ② 講座：8/8 300秒プレゼン交流会 市民活動の助成と活動実績について
- ③ 能登半島被災ご家庭の漆器洗浄並びに販売
2/26 洗浄会 3/1 オープンKIITOブース出展での販売

ウ) 令和6年能登半島地震緊急支援助成報告会支援者誘致業務

神戸市からの受託事業として、令和6年能登半島地震緊急支援助成報告会を実施し、この事業を支援したい企業・個人を募り、緊急支援を行う団体と支援者のマッチング及び、ふるさと納税への呼びかけを実施した。予定人数を超える多くの方に参加頂き、マスコミにも多数報道され、神戸市の能登支援について多くの方に知っていただく機会となった。

開催期日：6月10日(月曜)15時～16時 第1部報告会会場開催とオンライン開催
16時～17時 第2部交流会開催(会場のみ)

開催場所：神戸国際会館9F大会場

参加者：発表者6団体11名

支援者(企業・団体・個人)会場参加34人、オンライン参加6人 計40名

取材者 朝日新聞、日本経済新聞、神戸新聞、読売新聞、共同通信社、
サンテレビ、NHK、ラジオ関西
スタッフ 神戸市7名、しみん基金・こうべ3名

エ) NPO 支援活動

- ① 居場所”協創”サミット
日時：2月7日（金） 14：00～16：30
場所：全労済兵庫推進本部 5階ホール
- ② 兵庫県共同募金配分委員会
第1回日時：7/26 10時
場所：兵庫県福祉センター
第2回日時：8/22 13時
場所：兵庫県福祉センター
第3回日時：11/12 10時
場所：兵庫県福祉センター
第4回日時：3/4 13時
場所：兵庫県福祉センター
- ③ 令和6年度災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議
日時：9月4日（水） 13：15～16：30
場所：神戸クリスタルタワー3階 クリスタルホール
- ④ 令和6年度K-onnect+（ボランティアコーディネーター連絡会）
第2回日時：9/5 15時
場所：こうべ市民福祉交流センター3F
第4回日時：1/16 15時
場所：オンライン
- ⑤ 神戸市助成団体交流会
日時：12月18日 13:30～17：00
場所：KIITO
- ⑥ 令和6年度大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練
日時：12月25日（水） 10：30～16：00
場所：神戸クリスタルタワー3階 クリスタルホール
- ⑦ まち協サミット
日時：1月18日（日） 14:00～16：00
場所：こうべまちづくり会館
- ⑧ 中央区地域協働課新年のつどい
日時：2月3日（月） 17:00～19：00
場所：楠公会館

オ) NPO 地域貢献活動フェア

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸が受託したNPO地域貢献フェアに協力団体として参画した。またぼらくるの広報活動も実施した。

東部会場

日時：1月19日（日） 13:30～16：00

場所：三宮研修センター7階

西部会場

日時：1月26日（日） 13:30～16：00

場所：須磨パティオ健康館3階パティオホール

カ) 広報・情報発信

- ⑥ ニュースレター発行：3回
 - 1. 第63号：2024年7月、第64号：2024年12月、第65号：2025年3月
 - 2. ホームページに掲載
- ⑦ ホームページ、SNS：トップページ、助成事業等の適宜更新
 - 1. 最新記事を24本掲載。FB：最新記事を23本掲載
- ⑧ メルマガ等発行：8回
- ⑨ 検索サイト Google 広告による広告掲示回数(2023年度)
 - 1. 表示回数 11,259回 クリック数 969回 クリック率 8.61%

キ) 能登のお宝プロジェクト

神戸市からの仲介で、珠洲市に支援に入っている（一社）SAVE IWATE を通じて、被災した珠洲市のご家庭から、建物体などに伴って捨てざるを得ない輪島塗漆器を譲り受け、ボランティアを募り漆器を洗浄し、きれいになった漆器を販売し、経費を引いた売り上げを、（一社）SAVE IWATE を通じ、珠洲市の町内会に寄付した。

珠洲から取り寄せた漆器を保管する場所が必要だったため、KIITO に協力を依頼し実施した。

- 白鶴酒造(株)酒蔵開放での販売
 - 日時：10月5日（日）9:30～16:00
 - 場所：白鶴酒造(株)
- 第1回洗浄会
 - 日時：2月26日（水）14:00～17:00
 - 場所：KIITO:300
 - 参加者：10名
- オープン KIITO での販売
 - 日時：3月1日（土）11:00～16:00
 - 場所：KIITO
- 第2回洗浄会（ぼらくるを通じた領事館からの依頼）
 - 日時：3月25日（火）13:00～15:00
 - 場所：KIITO:300
 - 参加者：10名

※3～4月はKIITO内ショップ、
3月から須磨いるサロンでも常設販売していただいている。

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：2024年6月5日（水）17:30～18:30

開催場所：ボランティアプラザセミナー室

出席会員数：17名（うち委任状提出11名）、正会員数：26名

- 審議事項：（1）2023年度事業報告並びに決算報告
（2）2024年度事業計画案並びに予算計画案
（3）役員改選について
（4）2021年度決算書修正の件
（5）基本財産取り崩しについて

② 理事会

- 2024年5月15日（水） 開催場所：オンライン
審議事項：2024年度定時総会（6/5）に付議する事項の件、年度スケジュール
- 2024年10月7日（月） 開催場所：ボランティアプラザセミナー室
審議事項：顕彰事業書類選考、スケジュール、黒田賞、レガシー協会加入
- 2024年10月21日（月） 開催場所：中央区文化センター
審議事項：顕彰団体・金額の決定、
「しみん基金 KOBE 特別賞」「黒田賞」の選考
- 2023年1月22日（水）17:30～19:00 開催場所：オンライン
審議事項：顕彰事業 WS、来年度事業について

③ 四役会議

開催日：2024年5月1日（水）14:00～15:00

開催場所：オンライン

審議事項：来年度事業について

- #### ④ 監査
- 2024年5月2日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ 事務所
監事（敬称略）：濱西敏郎氏、諫山一彦氏

⑤ 理事・審査員合同会議

2024年6月18日（火） 開催場所：こうべまちづくり会館

議事内容：助成事業の休止と顕彰事業について

イ) 管理等

- ① 所轄庁への事業報告書提出 6月下旬
- ② 認定法人関係報告書提出 6月下旬
- ③ 年賀状の廃止
- ④ 正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳	未納者数
個人	24	23		210,000	1名退会	2人
団体	3	3		60,000		1団体
合計	27	26		270,000		

ウ) 運営上の重要事項

- ① NPO 法人ドットジェイピーよりインターンを春休みに1名受け入れた。